

磐田市

# 桶ヶ谷沼 ビジターセンター

## 第166号 2018年3月15日 だより



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



けいちつ

3月6日は「啓蟄」でしたね。<sup>あたた</sup>暖かくなって生き物が土から出てくる時期。桶ヶ谷沼の観察路を歩いていたら、芽吹き<sup>あたま</sup>の準備をする木々の冬芽、チョウやテントウムシの仲間にも出会いました。鳥たちの元気なさえずりも聞こえてきます。

皆さんも、時には道ばたや木々の枝先に目を向けたり、鳥の声に耳を澄<sup>す</sup>ましたりしてみてください。日に日に春の訪<sup>おとず</sup>れが感じられることでしょう。



アラカシの冬芽



枯れ草の上のルリタテハ



ビロウドツリアブ

\*\*\*\*\*

啓蟄をさかのぼること1ヵ月…

「立春」の2月4日(日)に<sup>こんちゆう</sup>冬の昆虫観察会が開かれました。暦の上では春にもかかわらず、風が強く大変寒い日でしたが、25人も参加者がありました。

昨年9月初めに16本(スギ8本、ヒノキ8本)の樹木に巻いた「<sup>ま</sup>わらまき」を1本ずつはずしながら、幹やわらにいる虫を観察しました。見つかったのはヤニサシガメの



幼虫やキハダカニグモなど、体長が1cmにも満たない昆虫がほとんどでしたが、参加した子どもたちの目は虫眼鏡のよう。講師顔負けで「ヤニサシガメが1・2・3…26!」と次々に昆虫を発見していました。寒風の中、根気強く最後まで観察したごほうびは、背中にハートマークのエサキモンキツノカメムシに出会えたことでしょうか。

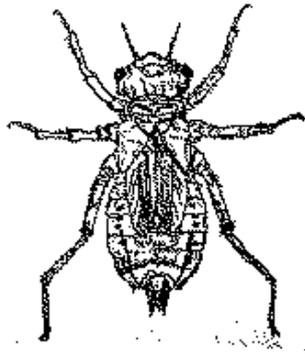


ヤニサシガメの幼虫



エサキモンキツノカメムシ

## トンボの幼虫（ヤゴ）も活動をはじめます



ベッコウトンボのヤゴ

暖かな気候とともに、じっとしていたヤゴたちも動き出します。

### ★ベッコウトンボのヤゴ

沼ではここ数年、3月の終わりごろからベッコウトンボの羽化<sup>うか</sup>が確認されています。ベッコウトンボのヤゴは、左の図のような形をしています。幼虫は体長2cmくらいの大きさで、よごれた褐色<sup>かつしよく</sup>です。これは、えさとなる小魚<sup>とら</sup>などの小動物を捕えるにも敵の目をくらます上でも好都合<sup>こうつごう</sup>なのです。

シオカラトンボなどの幼虫もこの形をしています。酸素<sup>さんそ</sup>を吸うエラは体の中（おしりの方）にあります。

今年も4月29日と5月3日には「ベッコウトンボ調査会」を開催します！

昨年<sup>さくら</sup>の調査会で確認された個体数は、171頭でした。トンボが羽化しやすい環境をつくるため、年間を通じて力を尽く<sup>つ</sup>してくださる「岩井里山の会」やボランティアの皆さんの思いが通じて、今年<sup>さら</sup>は更にたくさんのベッコウトンボが見られることを期待しています。

どうぞ皆さんも調査会にご参加ください。

桶ヶ谷沼や周辺の森は、静岡県条例による「自然環境保全<sup>しぜんかんきょうほぜんちいき</sup>地域」です。

動・植物の保護にご協力ください。

## 自然とのふれ合いを

※参加は無料です  
申し込みはビクターセンターへ

《 行事予定 》

### いきもの研究発表会

- \* 日 程 3月25日(日) 9:30~11:50 (受付9:00~)
- \* 場 所 桶ヶ谷沼ビクターセンター 視聴覚コーナー
- \* 対 象 一般 (小学生以下は保護者同伴で)
- \* 内 容 桶ヶ谷沼などの動・植物の研究者が日頃の成果の発表をします。
- \* 持ち物 特にありません。

### ベッコウトンボ調査会

- \* 日 程 4月29日(日)と5月3日(木) 9:30~11:30
- \* 場 所 桶ヶ谷沼周辺
- \* 対 象 一般 (小学生以下は保護者同伴で)
- \* 内 容 トンボの見分け方やベッコウトンボの説明を受けたあと、桶ヶ谷沼の周囲でベッコウトンボの個体数調査をします。
- \* 持ち物・服装 帽子、野外活動のできる服装、メモ用紙など

